



消防学校 ニュース



令和7年5月号

令和7年度の始まりに当たり

令和7年度が始まり、我が消防学校も初任教育初任科学生が入校しました。

我々教職員一同、若者たちの熱い気持ちをしっかりと受け止め、地域防災力強化のため、適正な教育訓練を行ってまいります。

今後とも、皆様の御理解と御協力、よろしくお願い申し上げます。

静岡県消防学校長 白鳥 満啓

初任教育初任科第96期

入校受付

～最初の難関 頑張れ！～



一同整列！



「やり直し」です

4月7日（月）、初任教育初任科の入校式です。入校生にとって最初の大きな関門は、恒例の入校式前の本校教官による入校受付と入寮受付です。

足並み、声の大きさ、整列の仕方、服装などを受付の教官が、厳しくチェックしていきます。

「声が小さい」「列が揃っていない」「駆け足が揃っていない」「敬礼が揃っていない」

「もう一度、駆け足で戻り、やり直し」

各所属で指導を受けてきていますが、この手厳しいチェックに、一度でパスすることは滅多にありません。教官からの注意があれば、順番待ちの列の最後尾に戻ってやり直しとなります。

このように、学生は初めて体験する指導により、消防学校では、今までの『学生』と違い、消防士として、社会人として、気を引き締めてしっかりと学んでいかなければならない事を自覚したことと思います。

入校式

～期待と不安 緊張の中での入校式～



白鳥消防学校長式辞



酒井静岡県危機管理監祝辞



成澤静岡県消防長会会長祝辞



宣誓書を手渡す入校生代表

4月7日（月）午前10時から、県内の各消防本部（局）から集まった初任科第96期の入校式を行いました。

初任科生は、約6か月間、消防の知識、技術、心構えなど消防職員としての基本を身に付けるべく、厳しい教育訓練を受けます。

入校式では、酒井静岡県危機管理監、成澤静岡県消防長会会長（静岡市消防局長）から温かい励ましのお言葉をいただきました。学生達は、各々の志を再確認し、改めて頑張ろうと思ったことでしょう。

また、入校生代表が気合十分に宣誓書を読み上げ、全学生の宣誓書を学校長に手渡しました。

消防職員初任教育
初任科
入校式
(第九十六期)

○初任科第96期 所属別内訳（139人）

東部地区		中部地区		西部地区	
消防本部名	人数	消防本部名	人数	消防本部名	人数
下田	8	静岡	33	御前崎	6
駿東伊豆	16	志太	9	菊川	2
熱海	2			掛川	7
富士山南東	8			袋井	4
御殿場	7			磐田	5
富士	6			浜松	15
富士宮	6			湖西	5

(担当教官から)

初任科第96期のスローガンは「精神一到」です。「どんな困難でも精神を集中して行えば必ず成し遂げられる。初任科生として、今やるべきことに集中する。」という思いを込めました。

初任教育期間中、学生が学ぶことは多岐にわたりますが、志高く、常に目標を掲げ、それに向かって取り組んでほしいと思います。また、当たり前のことをばかにせず、基礎や基本を徹底的に習得し、139人が一丸となって力強く前へ進んで行くことを願っています。

教職員一同、厳しくも愛情を持って指導し、周囲から信頼される消防職員を育成できるよう務めていきます。

教務課主査 山口 知宏（浜松市消防局から派遣）

初任科の始まり

いよいよ訓練スタート

訓練礼式



機器取扱訓練



消防活動訓練



ロープ高所講習



座学



総代・副総代選挙結果

～頑張れ総代! 副総代!!～

区分	氏名	所属
総代	西川 大暉	静岡
副総代（１組）	山本 大輔	湖西
副総代（２組）	大村 和巳	志太
副総代（３組）	塩山 朝日	静岡



総代 西川学生

入校して約１か月が経過した４月３０日（水）に、初任科第９６期の総代、副総代を初任科生の投票で選出しました。

総代は、初任科第９６期全体から１人、副総代は各クラスから１人ずつを選出しました。

代表として選出された４人については、これからの長い期間、それぞれのまとめ役として、同期に強い連帯感が生まれるよう、強い意思と広い視野、細やかな心遣いをもってリーダーシップを発揮してもらいたいと期待しています。

第1回初任科体力測定

～自己を知り、努力せよ～



上体起こし



反復横跳び



懸垂



立位体前屈



握力



100m 走



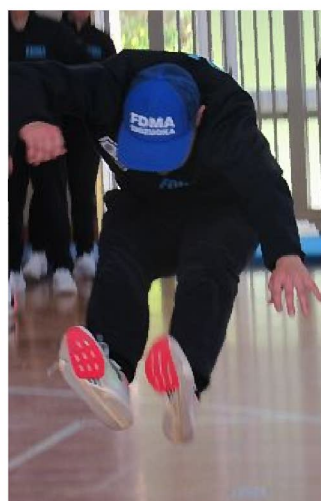
274.3m 走



シャトルラン



1,500m 走



立三段跳び

第1回体力測定を4月に実施しました。この測定で、各人は自分の身体能力を知り、課題を発見できたことと思います。今後は、その足りない部分を努力して補うことが大切な仕事となっていくと思います。第2回体力測定は8月です。

非常呼集

～大規模災害発生！ 直ちに屋内訓練場へ参集せよ～



4月21日（月）18時45分に非常呼集を実施しました。目的は、「①迅速出動の徹底」「②非常食・非常用飲料水等の携行状況の確認」、「③消防職員としての心構えの確立」です。

参集先の屋内訓練場では、教官が持ち物を一人ずつ厳しくチェックしました。

最初に集合した者から最後の者が集まるまでの時間には、まだまだ大きな差がありました。これから、日ごろの準備と心構えをしっかりと学んでいき、全員がより早く集合し活動できる態勢を整えることを目指します。

白鳥校長の一言（時事雑感）

精神一到

はじめまして！4月1日付けで消防学校長を拝命しました白鳥 満啓（しらとり みちひろ）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

前述のように初任科教育が始まりました。碧の風さわやかな晴天のなか屋外に響く学生の声に、すがすがしさと緊張感を覚えながら執務にあたっています。

さて、初任科に教育目標の象徴たるスローガンがあることをご存じでしょうか？数ある教育訓練の中でスローガンを設けているのはこの初任科だけで、今から20年ほど前から始まったようです。

今年度のスローガンは「精神一到」。「精神一到、何事か成らざらん」の略から「心を集中して事に当たれば、どんな困難な事も成し遂げられる」の意味で、白鵬関の横綱昇進時の口上としても知られています。

教官が、自ら初任科生だった当時を振り返りつつ熟慮を重ね選定したこの4文字には、「志を高く持ってほしい」、「目標を持って敢然と立ち向かってほしい」という熱い思いが込められていることを聴きました。そこに、我が子を命名するとき「このように育ってほしい」と願いを込める親の気持ちに近いものを感じました。

世間には「親の心、子知らず」という言葉もありますが、学生には、愛情をもって育ててくれた親の心を知ってほしいと思います。そして、今秋晴れて修了する時には、消防活動に必要な知識、技術、体力、精神力を身につけ、住民の期待に応えられる立派な消防士に成長することを願ってやみません。



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町 1-577-1
☎: 054-369-1190 FAX: 054-369-1197 E-mail: fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp

★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞ御覧ください。

静岡県消防学校

検索

